



誠・力・光

令和元年 7月 18日
練馬区立北町中学校
学校だより 4号

地域に育てられる北中生

校長 中嶋 雅彦

先日、電車を降り、北町中学校へ向かっていると、地域の方から「北中生が近所のパン屋さんで実習をがんばっていましたよ。」と声をかけられました。本校では、7月10日より職場体験を2学年で行っています。110人の生徒が、86の従業者などの職場で体験学習が行われました。地域の皆様におかれましては、毎年数多くの職場体験の場を提供していただき心から感謝いたします。これからの学校生活に生かしていきたいと考えています。

本校では、2学年で行う職場体験において、次の2つを進路指導における目標としています。

- 1 働くことの意義を理解する。
- 2 勤労の尊さや望ましい職業観を身に付ける。

この体験は、学校で得た知識を活用し、社会の中でどのように生かしていくことができるのかを考えるいい機会となっています。職場の方から教えていただくという学習だけでなく、その中で、子どもたちが、自ら考え、その仕事に目的をもって、取り組み、人のためになる役割を果たすことができるかを試す機会となっています。職場体験当日の学習効果はもちろん、事前、事後学習を1,2学期にわたり19時間行い、多くの人と人との関わりから学校では身に付けられない社会性などを育てる場としています。

さらに、2学年では、総合的な学習の時間を活用し、本校学区の旧川越街道で毎年行われる「きたまち阿波おどり」について、実際に参加されている地域の連の方をお招きし、地域についての学習活動や阿波おどりの体験学習をしています。今年は、「第27回 きたまち阿波おどり」が7月27日に行われ、北町中学校からも北中連として、50人以上の生徒が参加する予定になっています。この取り組みには、地域の参加連の方々に、事前の練習会を開いていただき、ご指導を受けています。私も、練習会に参加し、子どもたちと地域が一体となり活動する様子を見ました。この夏は、気温も低く体育館も踊りを練習するには快適でした。私も、生徒とともに汗をかき、日頃のストレスが少し発散できたように感じました。また、今年は、青少年育成第八地区委員会の協力をいただき、当日参加する生徒にうちわを配っていただけのこととなりました。そのうちわ(※1)には、本校美術部で選出した3年生の柴田さんによる「きたまち阿波おどり」をイメージしたイラストが描かれています。北中連の子どもたちが、自校の生徒が作成したイラストが描かれたうちわを持ち、地域の活動に参加することにより、自校に対する誇りを高め、自信を深めるものとなってくれることを願っています。



(※1)

北町中学校は、地域に根ざした学校として、地域教育力を活用し、子どもたちを大きく育て、社会性を身に付けた、社会に貢献できる人間を育成していきます。この7月だけでも、以上で述べたとおり地域の皆様の協力なくして、生徒を育てていくことはできません。身に付いた知識を人と人との関わりの中で、人に役立つ知恵とするために欠かせない体験活動をこれからも本校は推進していきます。今後とも、地域、保護者の皆様には北中生を見守り学校とともに育てていただければと考えています。

充実した夏休みを送るために！

昨年の今頃は、猛暑でしたが、今年は梅雨が明けずに梅雨寒が続いています。そろそろ太陽が恋しくなってきました。いったいどんな夏になるのでしょうか。

子供たちにとっては、楽しい夏休みには天候など関係ないのではないのでしょうか。その楽しい夏休みを充実するために、危険から自分を守らなければならないことがあります。1年生は7月5日（金）セーフティ教室、2年生は7月17日（水）情報モラル教室が開催されました。SNSによるトラブルや依存等、身近にある問題提起がなされました。子供だけで解決できない課題がありますので、是非、この機会にご家庭でも話題にし、充実した夏休みを送ってください。

また、夏休みを利用して普段できないことを挑戦あるいは体験して欲しいと思います。



1年生 セーフティ教室



2年生 情報モラル講習会

夢を叶えるための進路

「進路というと、3年生が行うこと。」と捉えている生徒もいるようですが、はたしてそうでしょうか。いずれ誰もが義務教育を修了し自らの進路を選択し進んでいくものです。

上級学校の進路選択も多岐にわたってきました。都立高校を例にあげれば、最近では、総合学科、国際化、科学技術科、産業科、ビジネスコミュニケーション科、デュアルシステム科などの学科もうまれ、選択の幅が広がっています。また、中高一貫校チャレンジスクール、エンカレッジスクールなど学校の特色に応じて、独自の教育方針で教育を行っている学校もあります。

さあ、みなさんは、ここに取り上げた様々な都立高校についてどのくらい知っているでしょうか。

多様化するということはありがたいことだと思います。でもそれは、早い段階で自分の進路について考えていかないと、より専門的な分野に分かれた多様な高校から自分にあった高校を探さねばならないことを意味しています。

3年生はもちろんですが、自分の進路を他人まかせにして選択していいのでしょうか。周囲の人からの情報も大切ですが、やはり自分で実際に行って確認することが一番重要です。このことも、夏休みだからこそ実際にたくさんの高校訪問・体験入学できるチャンスです。2学期になると時間は思うようにありません。

1、2年生もこの時期にじっくりと自分の卒業後の進路を考えてみるいい機会です。

中学校卒業後の進路選択は、みなさんの人生に大きな影響を与えるでしょう。簡単に決められるものではありません。だからこそ、どんな進路選択にも対応できる力をつけることが必要です。